1章①「科学する心」について子どもの姿から考えよう

主旨：子どもたちが自ら人や自然、もの、出来事と様々にかかわる暮らしの中で、豊かな感性が育まれ、主体的に遊ぶ楽しさ、学ぶ楽しさを味わう体験を通して創造性の芽生えが育まれる保育を実践する。

- ○ **すごい！ ふしぎ！ と身の回りの出来事に驚き、感動し、想像する心**
- ○ **自然に親しみ、自然の不思議さや美しさに驚き、感動する心**
- ○ **動植物に親しみ、様々な命の大切さに気付き、命と共生し、人や自然を大切にする心**
- ○ **暮らしの中で人、もの、出来事と意欲的にかかわり、ものを大切にする心、感謝する心や思いやりの心**
- ○ **遊び、学び、共に生きる喜びを味わう心**
- ○ **好奇心や考える心、その心の動きから生まれる創造性や分かった時の喜びを味わう心**
- ○ **自分の思いや考えを表現し、考え・つくり出していく楽しさの体験や、やり遂げる心**

みなさんは、「科学する心」をどのように捉え、どのように育んでいますか？

ソニー幼児教育支援プログラムでは、上記のように、「すごい！」「おもしろい」「ふしぎ」「どうして？」「そうだ！」「やってみよう」など、子どもたち一人一人の中に育まれている「科学する心」を７つの項目で示しています。

この7つの心、みなさんは、どのような子どもの姿をイメージされますか？

文末に“みなさんは、「科学する心」をどのように捉え、どのように育んでいますか？”とあるように、ソニー教育財団では、それぞれの園で考える「科学する心」を大切にしています。ここでは、保育者が、0歳児～ 5歳児の「科学する心」が発揮されている姿を見つめた画像を中心に、ご紹介します。

「この木をつくりたい」好きな木を作ったり言葉で表現したりして、探究へ　５歳児

桜の匂いが好きなAさん、自分の人形を製作し、木の近くに置く

傘の骨をイロハモミジの枝にして工夫

もっと高く

園庭の様々な樹木に興味をもっていた子どもたち…。
樹木の大きさ、花の美しさ、匂いなどに感動した子どもたちの遊びは、自分の“好きな木”を作る活動に展開した。「樹液が木の実から出るようにする」「木の中に虫を作って忍ばせる」など、作ることを通して、さらに好きな樹木を観察したり、調べたりするなど探究にもつながった。

友達と協同して松の木を作る

「ナンバーワン　においがかわる　さくらのは」
「チクチクと　まつはいたいぞ　とりはずき」
「ゴツゴツと　ふといみきだぞ　よこづなだ」など、俳句による表現も生まれた。

北陵幼稚園・北陵保育園

「わぁ、すごい」産卵の不思議さや初めて見る驚き、カマキリへの憧れ　4・5歳児

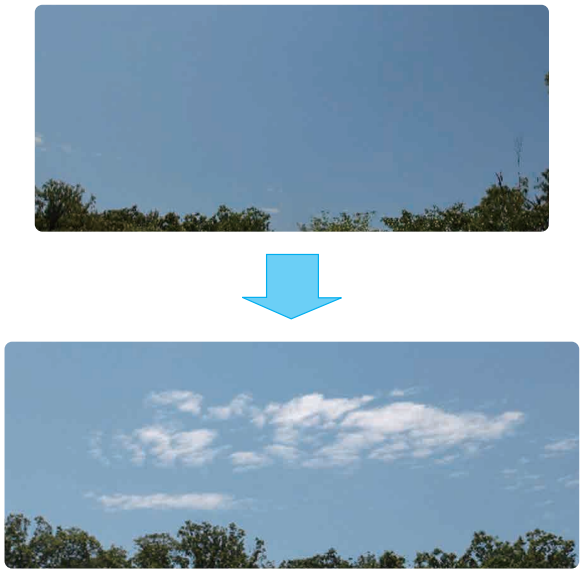
カマキリが卵を産んでいるのを見つける。
カマキリは逆さになり、卵を産みつけていた。
リアルタイムで初めて見る光景に驚き、「うわぁ、すごい」とため息のような声があがり、その後沈黙…

「逆立ちしているね」「カマキリがお尻ふっている」「どんどん泡みたいなのが出ている」「泡が卵だよね、やわらかそう、クリームみたい」と、友達と一緒に気づいたことや思ったことを共感していた。
「あーカマキリになってみたい…」

希望丘保育園

「空に雲がない！」空への興味・雲の動きへの気づき　3・4歳児

自分たちで作った望遠鏡



快晴のある日、いつも通り、嬉しそうに双眼鏡から天気を観察していた子どもたち…
Ｆさん：「空に雲がない！ 今日は空が青い！」
青い空を見て気持ち良さを感じている様子。その後少しずつ雲が流れてくると…
Ｆさん：「急に雲や！ この雲は飛行機みたいやなー」
時間が経つにつれ、空の様子が変わることや雲の形が変化していくことに驚いていた。
雲・雨・空などに興味が強くなり、明日の天気を当てたり、今日の空について
友達や保育者と共有したりする姿が多く見られるようになった。

阿武山たつの子認定こども園

「なんでなん？」水に濡らしても色の変化がない石に疑問をもって　3歳児

水に濡れたら色が変わった！
なんでなん？

色が変わる石

色が変わらない石

「なんか色が変わっちょん！」と驚きながら石を持ってきたAさん。「水に濡れたら色が変わった！」「なんでなん？」と水に濡れると石の色が変化することの不思議…
Aさんは園庭にある石を集めて水で濡らし始める。どんな石でも水に濡れると色が変化するものと予想していたAさん、「なんで白い石は色が変わらんの！？」と疑問が膨らむ…
色が変わる石と変わらない石を分けて観察し始めるAさん。そして、
「色がついてる石は変わらんね！」と友達と、面白さを共有していた。

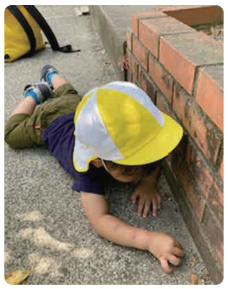
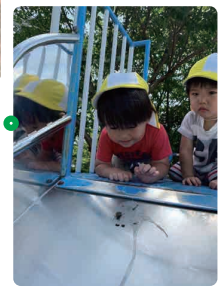
めずらこども園

「“ガジガジ”と“フワフワ”」触った感触の違いを表現　2歳児

保育者：「カボチャ、大きくなったね」Sさん：「葉っぱも、大きくなったなぁ」
本当に子どもの顔より大きくなっていた。
Sさんは、初めてカボチャの葉を意識して見たので、大きさに驚いた様子。
「大きいなぁ」と言いながら、カボチャの葉を触ると、「ガジガジやな」と言った。
その横にあるキュウリの葉っぱも触って、「これもガジガジやな」と言う。
ひょうたんの葉を触って、「こっちはフワフワやん！」と Sさん。

楽只保育所

「ここにもいるかな」小さな虫が動く姿に心動かされる“おもしろい” 1歳児

すべり台の上まで登った。
こんなところに大きな虫が
いることにびっくり

小石や木の葉、地面の上にある自然物に隠れるように生息しているたくさんの生物。ダンゴムシだけでなく、小さな虫が動く姿に心動かされ（**“おもしろい”**）、興味津々の子どもたちは、「ここにもいるかな？」「ここはどうかな？」というように、様々な場所に座り込んで探していく。**“おもしろい”が広がっていく**。

「あれ！ カップがない」水の中で透明カップが見えなくなる不思議 0歳児

手から落ちた透明カップが水の中に沈んでどんどん見えなくなっていく。目で追えなくなり、とうとう消えてしまった。その瞬間のＴさんは「あれ？」というより「えっ！」というように心から驚いた様子。

“カップがなくなった!!”
びっくり！ 不思議

保育園 にじのおうち